



■活動日：2016年8月27日（土） 9：00～12：00

■参加者：チーム神於山 正会員 12名

■活動内容

- ・今回は曇天で、湿度は高いものの気温は25度と、活動には打って付けの天気でした。
- ・台風10号のお陰とも言えますが、活動に参加された神於山シャープの森開設時の大阪府アドプトフォレスト制度第一号のシャープ側初代協定調印者であり、今回シャープから承継を受けた社友会側初代調印者でもある前社友会会長の御手洗さん（正会員）に敬意を表してくれたのかもしれない。
- ・活動は、熊本で丹沢栗の収穫が始まったとのTVニュースに触発され、急遽クリの木のある記念樹ゾーンの整備に計画を変更して行いました。
- ・その結果、本格的な収穫には1～2週間早いものの大粒の見事な栗が実っていることが判りました。
- ・参加いただいた12名の会員の皆さん、お疲れ様でした。

■今後活動目標

- ・今後はフクロウの巣箱づくりに取り組むと共に、狩場の整備で、上部植栽地の草刈りに取り組みます。
- ・また延び延びになっているイベントのメニュー作りや、基地の整備にも取り組む予定です。
- ・更に仮伏せしているシイタケの楯木の一部に、楯木内に菌糸が十分蔓延した証拠に、木口に菌糸体が白く浮き出てきているものが出てきていますから、そろそろ本伏せを考えないといけません。
- ・お楽しみはこれからです。別途ご案内しますので奮ってご参加ください。

■活動風景

手刈り班はハサミやカマで幹回りを、刈払班はその後を刈払機でサクサクと。



記念樹ゾーンの馬酔木の幹回りをサクサク。小腰をかがめた作業で結構大変です。後で腰に来たかも



看板前もサクサク。



記念樹ゾーンが終わった手刈り班は基地から上の斜面をサクサク



後から刈払機大奮戦。



綺麗に刈り込みが済んだ記念樹ゾーンと多目的広場。

■作業の後の記念の一枚

写真撮るなら定番の看板の前で。この時晴れ間が覗きました。



フクロウのDVDを持ってきてくれた金井さんは先に帰られたので、写真は11名です。

- 日本列島の太平洋側を、北東から南西へ下ってゆくという前代未聞の動きをしている台風10号のお蔭か、気温は基地回りで25度と言う、考えられないような活動日和の中、作業は気持ちよく終了。
- 記念撮影の時になって曇り空が晴れ、夏の日差しが差しました。
- 神於山シャープの森には、記念樹ゾーンに植樹したクリの木が2本、また上部植栽地に名前の「クリの木広場」の由来になった自然のクリの木が1本、合わせて3本のクリの木が有り、毎年実をつけています。
- 特に記念樹ゾーンのクリの木は、粒の大きい立派な実を付けます。

■記念樹ゾーンのクリの木は三つ子。

今は若干早生で、あと1~2週間経てば完熟です。



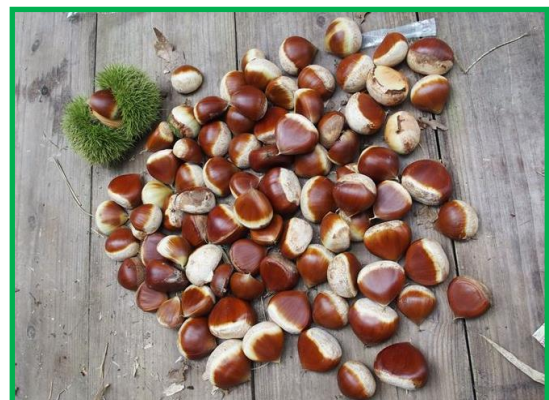
今年は頭の黒いネズミより先に収穫します。



早生のクリも…



実は大粒です。



早生の証拠は、下の部分が白いこと。

■シイタケの樽木にシイタケ菌が順調に活着。全てではありませんが、木口に白い菌糸が現れてきています。



以上